



ネットヨタ三重&からっとくらぶ編集室 presents

部活応援隊が行く!!

熊野市立
入鹿中学校
編

熊野市立入鹿中学校

地域への誇りや愛着を深め、地域の発展に貢献する気持ちを育む

全校生徒12人の入鹿中学校。

「地域から学び、地域貢献し、地域文化の中心を担う学校」を教育目標の一つに掲げ、生徒みんなが一緒に、地域学習に取り組んでいます。

Q1 地域活動の概要を教えてください。



A1 (山本時生校長) 丸山千枚田の取組では稲作体験や保存活動の手伝い、千枚田マップ作り等に取り組んでいます。紀和瀬流太鼓の取組は、地域文化を継承する取組です。文化祭や地域のイベント等で演奏します。フラワープラボーコンクール(学校花壇コンクールの取組では、昨年三重県大賞を受賞しました。今年は花の苗を地域にも配布し、地域環境の美化にも貢献します。

Q3 心に残っている地域活動は?

A3 (西さん) 千枚田の田植えで参加者に長靴を貸し出す役割をしました。たくさんの方が来てくれてうれしかったです。



Q4 地域活動を通じてよかったことは?

A4 (松川さん) 太鼓の演奏や千枚田の活動で地域の人と知り合いになって、登下校の時も挨拶をするようになりしました。

二次元コードを読み取ると入鹿中学校のコメントが見られます。



Q5 「紀和瀬流太鼓」の特徴と指導する上で、気を付けていることは?

A5 (高見さん) 「準」はスピードの速い曲。連打では叩く回数を意識してもうなど、具体的な指示をして、分かりやすいように心がけています。わたしたちも先輩から教わりました。その伝統を繋いでいきたいです。



Q6 活動を通じて、生徒に学んでほしいことは?

A6 (山本校長) 社会を構成する一員としての責任や役割を学んでほしいです。社会貢献や環境美化は子どもたちが生涯にわたって求められる力の一つであり、活動を通して達成感を感じたり、地域の方に感謝されたりすることで自己肯定感や自己有用感が育まれることを期待しています。

Q7 生徒が成長したと感じることは?

A7 (山本校長) 丸山千枚田の「田植えのつどい」では、長靴を貸し出したり、田んぼの案内を担当したり、田植えも代行しましたが、どれも一生懸命に取り組んでいました。オーナーさんたちに丁寧に対応する様子から、コミュニケーション能力が育っていると感じましたし、社会的マナーも身につけています。

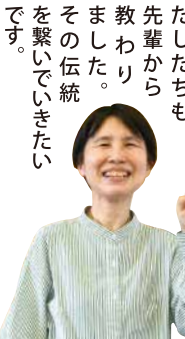


Q2 紀和地区のいいところは?

A2 (川村さん) 自然がいっぱいで赤木城や丸山千枚田の伝統もあるところです。



(2年生) 川村 優奈さん (かわむら ゆうな) (3年生) 西 美優香さん (にし みゆか) (3年生) 松川 虎煌さん (まつかわ こたけ)



音楽担当 若山 桂子先生



太鼓指導者 高見 はるなさん



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!